

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン】

事業名	介護福祉教育における 福祉レクリエーション実施能力向上のための教育方法の開発		
学校法人名	学校法人 原田学園		
学校名	鹿児島医療技術専門学校		
代表者	原田 理幸	担当者・連絡先	永原 和志・099-266-2622

<事業の概要>

介護福祉において福祉レクリエーションの実施は不可欠な要素であり、効果的におこなわなければならない。現在の介護福祉士の福祉レクリエーション教育に関する考えを調査し、マルチメディアを活用した画期的で、レクリエーション実施能力が向上する新しい教育方法を研究する。

<成 果>

○ 研究開発

まず、レクリエーション教育に関する学習会等を実施したうえで、レクリエーション活動の援助者に求められる資質である「発想力を高める」「プログラムをアレンジする」能力をいかに高めていけるかという問題意識を基に、レクリエーション教育の教材開発に取り組んだ。本開発の特徴は、教材作成の段階から学生を活用し、そのことがすでにレクリエーション援助者としてのスキルアップにつながっていること、さらに開発した教材の紹介にとどまらず、実際に開発した教材を活用して模擬授業を行い、その効果測定を行っていることである。

学生のプログラム立案から撮影に至るところにかなり時間を要したが、とりあえず30種類のプログラムをCD-Rに収録する事が出来た。また、介護サービス現場での実際のレクリエーション活動の様子を録画する事も出来たので編集しDVDとした。特に施設実習を経験する前の学生に対して介護サービス利用者の身体的、精神的状況理解につながるものと思われる。また収録したものの中には、地域の特性をいかしたプログラムの紹介も数種類ある。最近の学生は地域社会との関係が希薄化していることから、高齢者の方々が親しんできた地域の伝統芸能や季節感を含んだ行事等に通じていない状況が窺えることから、高齢者の理解といった面でも参考になろう。

○ 調査分析

現在、施設においてレクリエーションをどのようにとらえているか、養成校においてレクリエーションをおこなう能力をどのように養おうとしているかを把握、分析するため、全国の施設、養成施設にアンケートを行った。期間が少なかったにもかかわらず、施設は1,909件（送付は8,965件）から返信があり、養成施設からも169件（送付は411件）の返信があった。それをまとめて、研究開発の資料とした。

また、全国各地の施設から12箇所をピックアップし、聞き取り調査もおこなった。そのとき、レクリエーションの現場を撮影させていただき、それを編集して、ビデオ教材を作成した。